

書籍仕入れご担当者 様【 ジャンル/文芸(俳句・短歌・詩・エッセイ)】

平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。

新刊の『石牟礼道子全歌集 海と空のあいだに』を10月下旬に発売致します。

ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようご案内申し上げます。

FAX: 092-726-9886

石牟礼道子全歌集

【10月下刊】

海と空のあいだに

【解説】前山光則

A5判・330頁 定価 2600円+税
ISBN 978-4-86329-195-9 C0092

◆石牟礼文学の出発点◆

「短歌は私の初恋。常に滅び、常に蘇るもの。
短歌はあと一枚残った私の着物。このひとえの重さを
脱いでしまえば私は気体になってしまう」 (短歌への慕情)

1943年～2015年の未発表短歌を含む670余首を収録
【『苦海浄土』(1969)刊行以前に詠まれた初期短歌と『アニマの鳥』
(1999、のち『春の城』)刊行前後から詠まれた短歌を中心に集成】

石牟礼道子の作家活動は多
面的だった、と言って良い。
さて、その文学的出発点
に何があったかと考えると、
短歌は無視できない。

(「解説」から)

石牟礼道子は『苦海浄土』
『椿の海の記』『天湖』『春の
城』等々、たくさんのおす
べた作品を書きのこした。
長い作品もあれば短編も書
いたし、味わい深いエッセ
イの類も非常に多い。さら
に詩を書き、俳句・短歌も
詠んだ。能の台本もある。

雪の辻
ふけてぼうぼうともりくる
老婆とわれといれかはるなり
水底の
墓に刻める線描きの
蓮や一輪残夢童女よ
花びらの
吐息のごとくてのひらに
なでられつゆく冥土への旅

〈著者の横顔〉石牟礼道子 (いしむれみちこ)

1927年、熊本県天草郡(現天草市)生まれ。1969年、『苦海浄土—わが水俣病』(講談社)により注目される。1973年、季刊誌「暗河」を渡辺京二、松浦豊敏らと創刊。マグサイサイ賞受賞。1993年、『十六夜橋』(径書房)で紫式部賞受賞。2001年、朝日賞受賞。2003年、『はにかみの国 石牟礼道子全詩集』(石風社)で芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2014年、『石牟礼道子全集』全17巻・別巻一(藤原書店)が完結。2018年2月、死去。

【FAX: 092-726-9886】

地小出版 流通センター 取扱品 書店・帖合 ご担当者様	冊	石牟礼道子全歌集 海と空のあいだに 石牟礼道子	定価 2600円+税 ISBN 978-4-86329-195-9
	冊	ここすぎて水の径 石牟礼道子	定価 2400円+税 ISBN 978-4-86329-126-3
	冊	もうひとつのこの世 《石牟礼道子の宇宙》 渡辺京二 著	定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-089-1
	冊	預言の哀しみ 《石牟礼道子の宇宙II》 渡辺京二 著	定価 1900円+税 ISBN978-4-86329-182-9
	ご注文日 様 [/]	弦書房 —Genshobo—	〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com